

編集後記・Editorials

魚類学雑誌
47(1): 79

心配されたコンピューターの誤作動や社会的混乱もなく、新しいミレニアムを迎えられたことを喜ぶとともに、来年から始まる21世紀が人類にとって環境・食糧問題の解決と平和な社会の構築に向けた誇れる世紀となりますことを祈念せずにはおられません。

さて、2000年の第1号となる魚類学雑誌47巻1号をお届けします。本号は、総説と本論文の各1篇と短報5篇の構成で刊行することができました。また巻頭の会告では、今年10月に開催が予定されています年会のお知らせを載せています。開催地となる神奈川県立生命の星・地球館では初めての年会となりますので、多くの会員の皆さまのご参加をお願いする次第です。

ところで、本年4月7日に開催されました臨時編集委員会において、本学会誌の編集に関する幾つかの重要な問題が論議さ

れました。その一つは、英文誌の編集業務を国際商業出版社に委託するという案件です。英文誌は年4回の季刊ですが、その編集作業のために英文誌主任編集委員に多大な負担がかかっている現状にあります。この過剰な負担を軽減する方法として、また今後のジャーナルの国際化に対応する方法として、英文誌の編集業務委託化は避けて通れない問題です。勿論、これによって会費の値上げに繋がることがないように、現在の英文誌出版経費内で来年から実現したいと考えています。いま一つは、編集委員会の刷新・強化の課題です。長い間重責を担ってこられた編集委員から新しい委員への交代、またアドバイサーボードの拡充を行うことによって、雑誌の国際化を一層進めるとともに、英文誌・和文誌の質と量の向上を計りたいと考えています。これらの懸案を含め、編集あるいは編集委員会に対してご意見がありましたら、編集委員長あるいは両主任編集委員へ連絡していただければ幸いです。

(AG)